

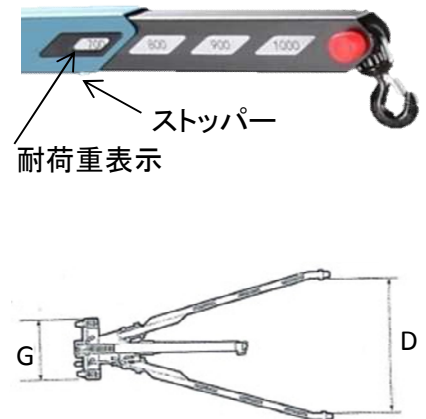
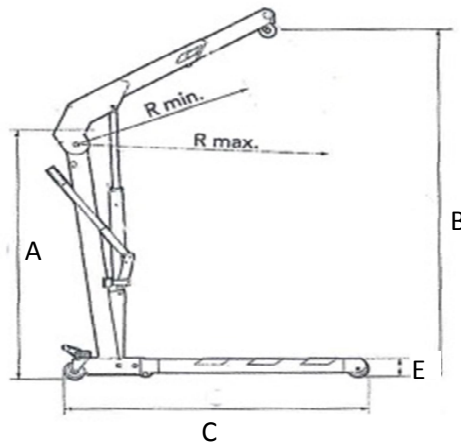
# EA993BG-1A (油圧式アームジャッキ) 取扱説明書

Ver.1.0

この度は当商品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
ご使用に際しましては、取扱説明書をよくお読み頂きます様お願い致します。

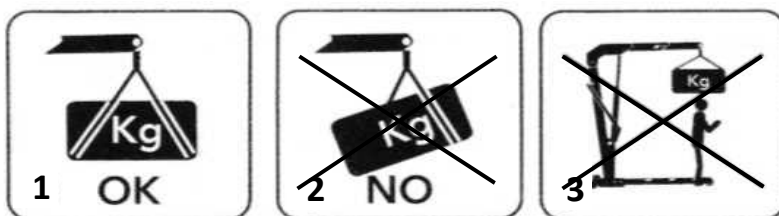
## ◆ 仕様

- ・耐荷重…700～1000kg(アーム4段階調整)
- ・揚高…2200mm
- ・サイズ(A)…1580mm
- ・サイズ(B)…2200mm
- ・サイズ(C)…1580mm
- ・サイズ(D)…860mm(内寸)  
970mm(外寸)
- ・サイズ(E)…112mm
- ・アームの伸長(R)…960mm(最低)  
1300mm(最高)
- ・サイズ(G)…530mm
- ・重量…92kg



## ⚠ 使用上の注意と安全について

1. 持ち上げる重量はホイストアームの各位置に記載される吊り能力を超えないで下さい。
2. スリングやチェーンで持ち上げると対象物の重量以上に負荷がかかる事があります。フックは安全ラッチが付いていますが、正しく動作しているか確認して下さい。
3. クレーンはしっかりした平らな地面の上で滑らないように使用して下さい。不必要な物が無い明るい場所で使用して下さい。
4. クレーンの能力はアームを伸ばす程下がります。
5. 作業前にアームジャッキの周りに人がいない事を確認して下さい。
6. クレーンの作業に進む前に、スライドが完全に取り付けられていることを確認して下さい(図1、2)。クレーンアームは上昇する荷物に最も近い場所に配置する必要があります。障害物の高さや妨げになる様な障害物が無いことを確認して下さい。フックに荷物を固定する時は、常に持ち上げる荷物よりも優れた、適切なアームの長さで使用して下さい。ストッパーが正しく機能することを確認する。
7. 荷物を安定してバランスよく持ち上げるには、フックから吊り下げ、その重心が常に脚と脚の間になるように注意して下さい。
8. 吊上げ時、荷物が動いた時に激しく揺らしたり、落としたりしないよう注意して下さい。機器や対象物の損傷または怪我の原因に繋がります。
9. いかなる状況でも荷物の下に作業者は入らないで下さい(図3)。クレーンの上に載ってはいけません。
10. クレーンは搬送手段ではありません。しかし荷物を分離しなければならない時は、荷物を動かす前にできるだけ荷物の位置を低くしアームも低くして下さい。クレーンは荷物を支持する道具ではありません。作業が終了したら荷物を降ろし、しっかりした地面に置いて下さい。
11. 過負荷に対する安全対策として、クレーンには工場で最大作動圧力に設定された過負荷バルブが付いています。本体の安全装置は工場出荷の際、セットされていますので触らないで下さい。

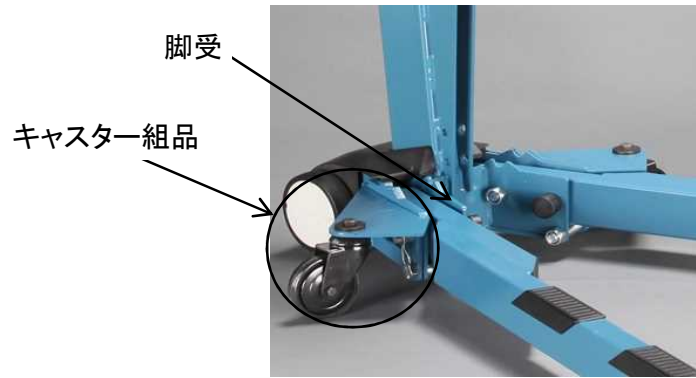
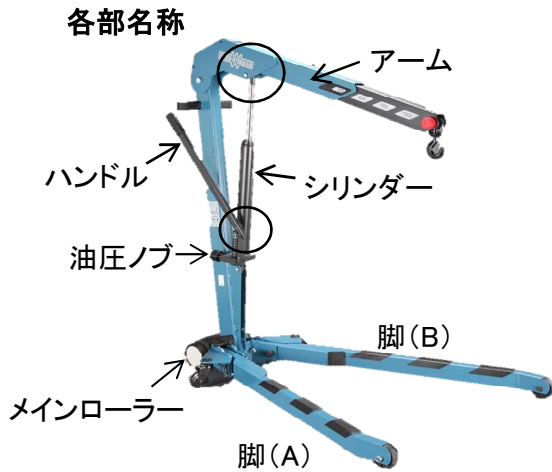


## ◆ 組み立て、使用、操作

組み立て作業は二人で行って下さい。

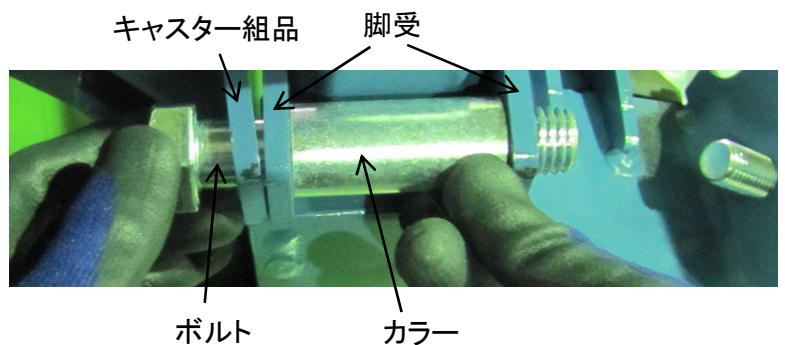
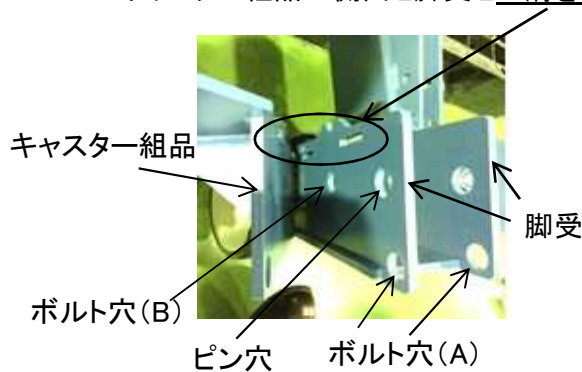
## ■ 先に脚部、次にシリンダー上部、最後にハンドルを組み立てます。

1. 梱包ケースを分解して本体、部品を出す。
2. 一人がメインローラーを転ばないように車止めをして、メインシャフトを立て倒れないように保持する。



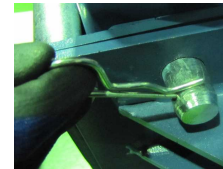
①脚部組み立て

1. キャスター組品の側面と脚受との溝を合わせ、ボルト穴(A)とカラーにボルトを通し、ナットで固定する。



2. 脚(A)を脚受に入れて穴を合わせ、ボルト穴(B)とカラーにボルトを通し、ナットで固定する。

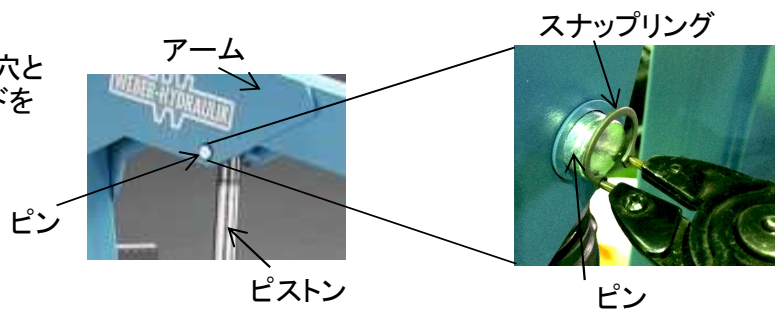
3. ピン穴にピンを挿入し、スナップピンで留める。



4. もう一方の脚(B)も上記2~3と同様に組み立てて下さい。

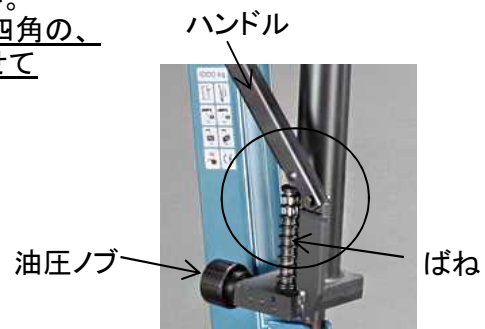
②シリンダー上部組み立て

・アームを手で少し持ち上げピストン上部の穴とアームの穴を合わせ、ピンを通し、両サイドをスナップリングで止める。



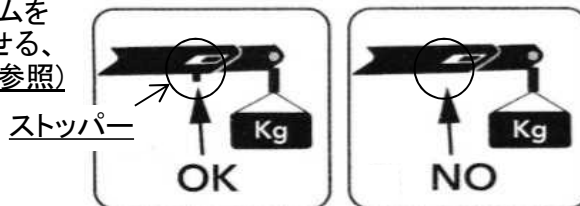
③ハンドルの組み立て

・ハンドルを右図の位置にボルトとナットで取り付けて下さい。ボルトを通す時にカラーを入れる事を忘れないで下さい。取り付け後ばねの上部にはばねのストッパーとして断面四角の、L型ピンが付いています、必ずピンを外し180°回転させて再度差し保管して下さい。



## ◆操作

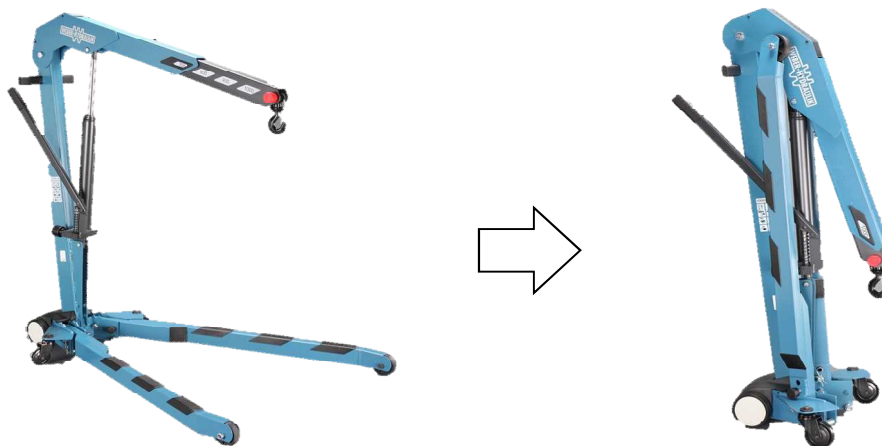
- ・クレーンを使用する前に油圧回路のバルブシステムから空気を抜く必要があります。油圧ノブを反時計方向に90°回しながらハンドルを数回上下させます。油圧ノブを時計方向に回し、元の位置に戻すとクレーンが使用できる状態になります。
- ・アームの下にストッパーが付いています。それを押しアームをスライドさせ希望する荷重の位置にアームの長さを合わせる、この時、下のストッパーが出ていることを確認する。(右図参照)



- ・荷重を上げる時はハンドルを上下に動かして下さい。エンジンを上げる時は自動車メーカーの推奨するポイントに当て上げて下さい。
- ・荷重を下げる時は油圧ノブ(各部名称参照)を左側にゆっくり回して下さい。このシステムは正確に調整され制御します。クレーンにはLCSシステムが装備されており、ノブが作動していない場合はクレーンは降下を停止します。
- ・クレーンの使用が終了したら油圧ユニットのピストンを完全に引っ込め、アームを最初の位置に動かす。

## ◆収納方法

保管のために図の様に折りたたむことができます。



1. アームを最小の位置に縮め(1000kgの位置)ストッパーが出ていることを確認する。
2. 油圧ノブを左側に回してシリンダーを縮めて下さい。
3. 下部にある脚の根元にあるピンを外し、脚を立て再度脚穴にピンを差し込み、スナップピンで留め、脚が倒れるのを防いで下さい。 ※片側ずつ行って下さい。

## ◆メンテナンス

1. 一定期間ごとに可動部に注油して下さい。クレーンは常に清潔に保ち、悪い環境下に曝さないで下さい。
2. 過負荷に曝された疑いがある時や、問題を解決するまでノッキングを起こした時は使用しないで下さい。
3. オイルレベルを点検又は補充する必要がある時は油圧ユニットを外してピストンを完全に引っ込め、フィルタープラグを取り外し、オイルを容器に排出して下さい。油圧ユニットを水平にした状態で必要量を指示通りに充填して下さい(下図参照)。新しいオイルに汚れが入らないようにして下さい。



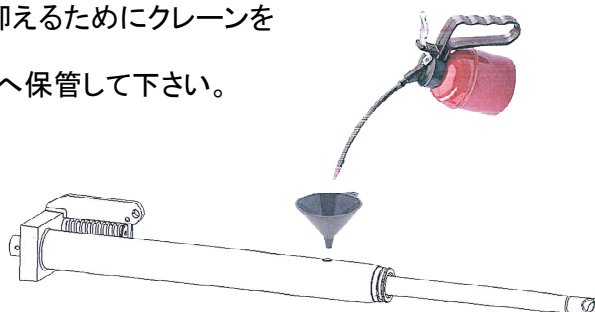
**注意: 必要な量を超える過剰のオイルはクレーンの運転に影響を及ぼす可能性があります。**

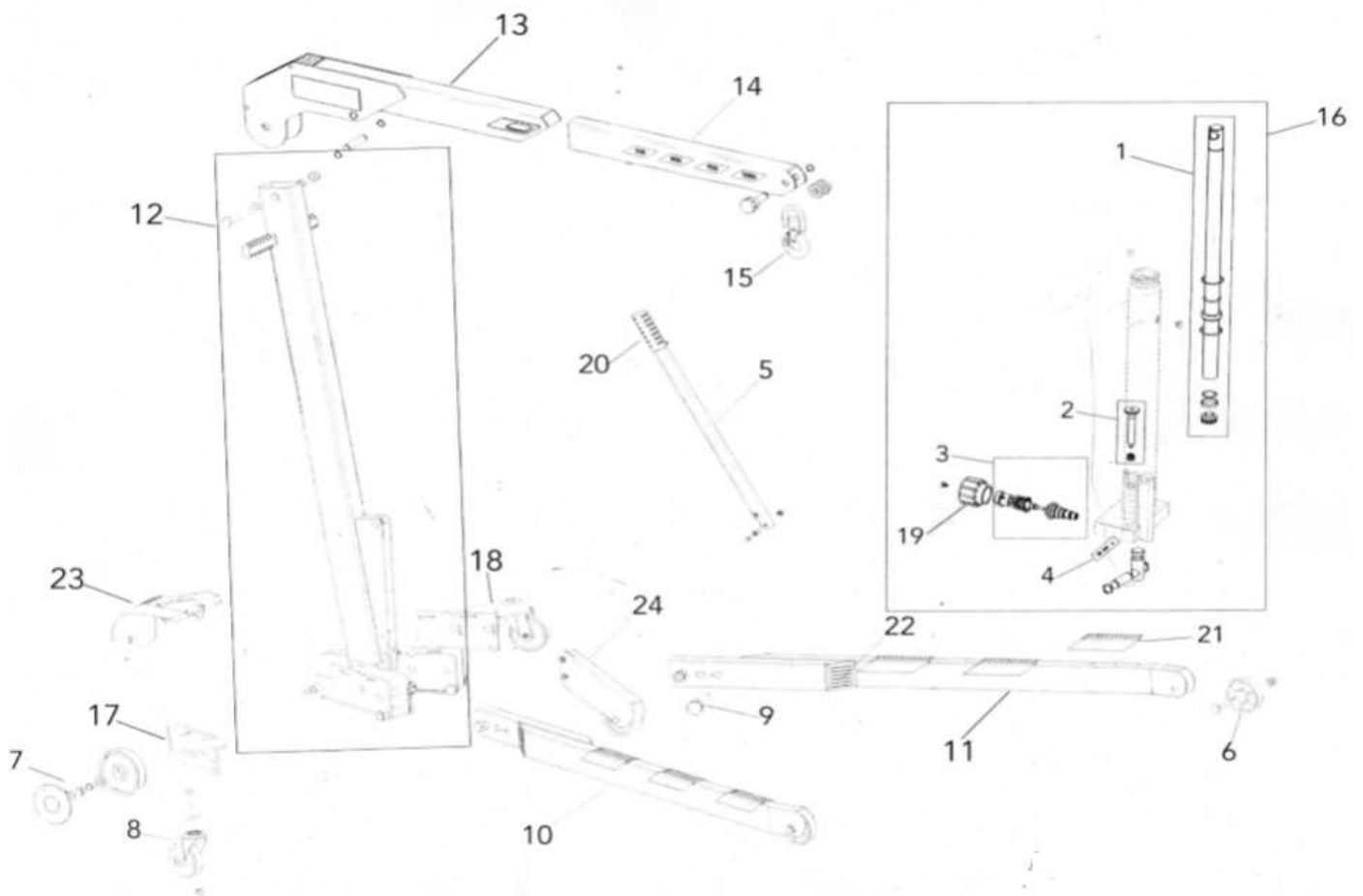
4. 油圧オイルはHL、HM ISO30cSTを使用して下さい。



**注意: ブレーキ用オイルは使用しないで下さい。**

5. クレーンを使用しない時はピストンの腐食を最小限に抑えるためにクレーンを最小位置に完全に引き戻して下さい。
6. クレーンを乾燥した清潔な、子供の手の届かない場所へ保管して下さい。





改造はしないでください。



- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

18.Jan.